

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

# NEWS

2017年7月号

NO. 287

## TOPICS

**「PRプランナー資格事業のさらなる発展を」**

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事長 近見竹彦

MESSAGE P3

**「新理事ご挨拶および平成29年度役員担務」**

ATTENTION P4

**「第21回「PRプランナー資格認定検定試験」**

**1次試験締切間近！ 7月14日(金)まで」**

ATTENTION P6

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:近見 竹彦

# 7月号 目次

7月～9月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	「PRプランナー資格事業のさらなる発展を」	— 3
ATTENTION((お知らせ)	「新理事ご挨拶および平成29年度役員担務」	— 4
〃	「第21回「PRプランナー資格認定検定試験 1次試験締切間近！ 7月14日(金)まで」	— 6
BULLETIN(活動報告)	「特別国際セミナー開催報告」(会員限定)	— 7
〃	「2017年度第1回「なでしこカウンスル」開催報告」(会員限定)	— 8
〃	「企業部会 第26回「広報ゼミ」開催報告」(会員限定)	— 8
VOICE of PR PLANNER	「PRプランナー2,000人の仲間と進むPRの未来」	— 9
REPORT(講演レポート)	「第183回定例研究会 ワールドビジネスサテライト 2017年の番組作り」(会員限定)	— 10
PR TREND(PRトレンド(関西)	「イケフェス大阪2017 ～「ダイビル本館」を見に行こう～」	— 11
会員情報(会員便り)	「協会監事・個人正会員B 清水正道氏からのお知らせ」	— 13
協会掲載記事	「PRSJ in Media 7月」	— 15

## 7月～9月スケジュール

広報PRアカデミー2017 3次試験対応講座	日時 : 7月5日(水)、12日(水) いずれも 19:00～21:30 会場 : ベルサール六本木コンファレンスセンター
夏季情報交換会兼新入会員歓迎会	日時 : 7月11日(火) 18:00～20:30 会場 : ジャルダン・ド・ルセヌ
広報PRアカデミー2017 1次試験対応講座	日時 : 7月13日(木)、19日(水)、26日(水)、8月2日(水) いずれも 19:00～21:30 会場 : ベルサール六本木コンファレンスセンター
広報PRアカデミー2017 クライシス対応トレーニング	日時 : 7月21日(金) 15:30～19:30 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講師 : 宍辛 代表取締役 石川慶子氏 テーマ : 「クライシス・コミュニケーションの実践的ポイント ～初動から緊急記者会見まで」
PRプランナー資格認定 検定3次試験	日時 : 7月22日(土) 13:00～16:00 会場 : 富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京) 富士通ラーニングメディア関西ラーニングセンター(大阪)
第185回定例研究会	日時 : 7月24日(月) 12:00～14:00 会場 : AP秋葉原 講師 : 日本経済新聞社 コメンテーター 村山恵一氏 テーマ : 「日本企業も斬新な実験的試みを 先進IT企業の取材から見えてきたこと」
PRプランナー資格認定 検定1次試験	日時 : 8月20日(日) 10:20～12:00 会場 : 東京富士大学(東京) 毎日インテシオ(大阪) AP名古屋(名古屋) 北海道建設会館(札幌)
第186回定例研究会	日時 : 9月29日(金) 12:00～14:00 会場 : 日本外国特派員協会(FCCJ) 講師 : ダイヤモンド社「週刊ダイヤモンド」編集長 深澤 献氏

## 7月～9月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(7月度)	日 時	: 7月 13日 (木)	16:00～18:00
	(9月度)		9月 14日 (木)	16:00～18:00
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(7月度)	日 時	: 7月 19日 (水)	12:30～14:00
	(9月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(7月度)	日 時	: 7月 20日 (木)	12:00～14:00
	(9月度)		9月 28日 (木)	12:00～14:00
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(7月度)	日 時	: 8月 2日 (水)	16:00～17:30
	(9月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(7月度)	日 時	: 7月 24日 (月)	16:00～18:00
	(9月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
顕彰委員会	(7月度)	日 時	: 7月 19日 (水)	16:00～18:00
	(9月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(7月度)	日 時	: 7月 5日 (水)	17:00～18:00
	(9月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(7月度)	日 時	: 7月 18日 (火)	16:00～18:00
	(9月度)		9月 19日 (火)	16:00～18:00
		会 場	: 協会会議室	
PRプランナー部会 幹事会	(7月度)	日 時	: 7月 10日 (月)	19:00～21:00
	(9月度)		未定	
		会 場	: (株)電通パブリックレーションズ 会議室	

## PRプランナー資格事業のさらなる発展を

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事長 近見竹彦

本年はPRプランナー資格認定制度が始まって10周年の節目の年にあたります。この間、PRプランナー資格取得者は2,200名を超え、受験者数も年々増加して続けています。このことは取りも直さず、PR領域の確実な伸張を表すとともに、多くの企業・団体の中で戦略的なPRマインドに基づいた新しい活動が、さらに活発になっていくことを予感させます。

2007年の制度の立ち上げに向けてご尽力いただいた皆さま、そして作問や試験運営などに携わり、試験制度の質の向上にご努力いただいた関係者の皆さまに、この場をお借りして、心から敬意を表したいと思います。

本資格は、PR領域における専門能力を有していることの証明であるとともに、より自由な発想とその戦略の組み立て方の多彩さなどコミュニケーションにおける“PR思考体系”といったものを身に付けていることの証明でもあります。

とは言え、PRプランナー資格への認知、理解は十分と言える状態ではありません。この10周年という節目に、PRプランナー資格が意味する価値に対して、一層の認知と理解を獲得するために、作問や試験運営などを中心に、制度運営の質の向上などに積極的に取り組んでいかなければなりません。

公益認定事業として協会事業の一翼を占めているPRプランナー資格認定制度ですが、さらなる発展に向けて一層のご協力をお願いしたいと存じます。

## 新理事ご挨拶

6月1日(木)の「公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 第6回通常総会」において新理事 竹内晃治氏が承認され、6月1日付で就任いたしました。

新理事のご挨拶と平成27年度の組織体制及び役員担務のご紹介をいたします。

1年後の役員改選までの間、この体制で協会活動を推進してまいりますので、会員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



### 理事 竹内晃治

この度、理事ならびに企業部会長を拝命しました。

私は、西武グループ各社、出向会社で広報担当を23年以上携わってきましたが、その中で、プロ野球関係に10年いたことが良き経験となりました。会社をPRするためには、まず自分をPRできなければダメだと思っています。うるさいくらいにアピールする魅力的な広報マン、広報ウーマンに出会えるのを楽しみにしています。

新参者ではございますが、既存会員の皆さまからのご協力、ご支援を受けながら、広報業界発展のために積極的に協会活動をしていきますので何卒よろしくお願いいたします。

## 平成29年度役員担務 (敬称略)

理事長	近見 竹彦 (株式会社電通パブリックリレーションズ) 経営企画会議議長
副理事長	大石 哲也 (株式会社スパイスコミュニケーションズ) PR業部会 部会長
副理事長	金野 祥治 (株式会社小田急ランドフローラ) コンプライアンス会議議長、顕彰委員会 副委員長
副理事長	江良 俊郎 (株式会社エイレックス) 教育委員会 委員長
副理事長	上岡 典彦 (株式会社資生堂) 資格委員会 委員長
常務理事 (常勤)	福家 慎一 (公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会)

理事	市瀬 朱実 (アリソン・アンド・パートナーズ株式会社) 国際・交流委員会 委員長
理事	大里 真理子 (株式会社アークコミュニケーションズ) 企業部会 副部長
理事	緒方 宏俊 (凸版印刷株式会社) 教育委員会 副委員長
理事	小早川 護 (北海道大学 名誉教授)
理事	境 信幸 (株式会社オズマピーアール) PR業部会 副部長
理事 (新任)	竹内 晃治 (株式会社西武ホールディングス 兼 株式会社プリンスホテル) 企業部会 部長
理事	田畑 好崇 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社) PRプランナー部会 部長、広報委員会 副委員長
理事	多羅尾 智子 (株式会社一粒舎) 広報委員会 委員長
理事	殿村 美樹 (株式会社TMオフィス) 関西部会 副部長
理事	富岡 洋子 (株式会社NTTデータユニバーシティ) 顕彰委員会 委員長
理事	西島 憲治 (サントリーホールディングス株式会社) 関西部会 部長
理事	吉富 太郎 (一般財団法人日本気象協会) PRプランナー部会 副部長、資格委員会 副委員長
監事	岩渕 昭子 (東京経営短期大学 経営総合学科 教授)
監事	清水 正道 (CCI研究所)
監事	西谷 武夫 (ウェーバー・シャンドウィック)

## 【事務局】

事務局長 (常勤)	渡邊 啓 (公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会)
関西支部 事務局長	村田 貞博 (公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会)

## 締切間近

### 第21回「PRプランナー資格認定検定試験」

**1次試験締切間近！ 7月14日(金)まで**

資格委員会

第21回PRプランナー資格認定検定試験1次試験（実施：8月20日(日)）は、東京・大阪・名古屋・札幌の4会場で実施します。

日本PR協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は1次から3次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は2007年より発足しすでに19回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した2,020名のPRプランナーが一般企業やPR関連会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、7月14日(金)までとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

#### PRプランナー資格認定検定試験／1次試験 実施概要

試験会場	東京会場	大阪会場	名古屋会場	札幌会場
<b>試験日</b>	<b>2017年8月20日(日)</b>			
<b>募集定員</b>	400名	80名	80名	40名※
<b>受験応募・申込方法</b>	資格制度Webサイトで受験予約を行った上、申込書を郵送			
<b>受験予約期間</b>	<b>2017年6月1日(木)～2016年7月14日(金)</b>			
<b>申込書送付期間</b>	<b>2017年6月2日(金)～2016年7月20日(木) 消印有効</b>			
<b>受験票送付</b>	2017年8月4日(金)			
<b>可否通知送付</b>	2017年9月1日(金) ※郵送により通知 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、可否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも9月4日(月)にお送りします。			

#### <試験時間>

09時30分	各試験会場に入館できます
10時20分	指定の教室・座席にご着席ください
10時25分	注意事項伝達・試験問題配布
10時40分	試験開始
12時00分	試験終了

※資格検定試験の詳細は、以下URLの協会PRプランナー資格Webサイトをご覧ください。

<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



**会 員 限 定****特別国際セミナー開催報告****「最新グローバルメディアとPRトレンド・現状と課題」****第一部:PRSJ主催米国研修旅行報告会****国際・交流委員会****第二部:特別講演****AP通信社東京支局 ニュースディレクター ケン森次氏****国際ジャーナリスト 高橋浩祐氏(前ハフィントンポスト日本版編集長)**

6月13日(火)18:30~20:30、(公社)日本記者クラブ「会見場」で、第一部米国研修旅行報告(パネルディスカッション)、第二部特別講演の二部制で開催しました。テーマは「最新グローバルメディアとPRトレンド・現状と課題」。第一部のパネルディスカッションのパネリストは2月に実施した米国研修ツアー参加者から㈱エイレックス平野日出木氏と㈱井之上パブリックリレーションズ 尾上玲円奈氏、およびウエーバー・シャンドウィック 西谷武夫氏、モデレーターは国際・交流委員会 委員長 市瀬朱実氏(アリソン・アンド・パートナーズ㈱)。第二部の特別講演はAP通信 ケン森次氏、国際ジャーナリスト 高橋浩祐氏(前ハフィントンポスト日本版編集長)。参加者は59名でした。



**会 員 限 定****2017 年度 第 1 回「なでしこカウンスル」開催報告**

国際・交流委員会

6 月 21 日（水）、過門香點（かもんかてん）有楽町イトシア店にて「2017 年度 第 1 回 なでしこカウンスル」が開催され、24 名の広報・PR ウーマンたちが参加しました。

今回は講師に厚生労働省職業安定局 派遣・有期労働対策部 企画課 雇用支援企画官 河村のり子氏をお招きし、『女性が「働く」ということ』をテーマにお話いただきました。司会は国際・交流委員会担当委員である㈱スヴェンソンの杉山氏が担当してくださいました。

**企業部会 第 26 回「広報ゼミ」開催報告  
「企業サイトマネジメント」**

企 業 部 会

5 月 29 日、22 社 45 名の企業部会会員にご参加いただき、第 26 回広報ゼミを㈱NTTデータの豊洲センターにて開催しました。

今回の広報ゼミは「企業サイトマネジメント」をテーマとし、広報業務において重要性が増してきた企業WEBサイトについて、日々進化するWEB環境への対応や、SNSの活用、WEBガバナンスなどに関し 3 名の方にご講演いただきました。

## PRプランナー2,000 人の仲間と進むPRの未来

Supership 株式会社  
佐々木小織

### ■PRは奥が深く、プロフェッショナルな仕事

はじめまして。Supership 株式会社で広報をしております、佐々木と申します。

私がPRの仕事をはじめたのは、12年前、PRエージェンシーへの入社がきっかけでした。当時は広告と広報の違いも曖昧なまま飛び込んだ業界だったのですが、すぐにPRの魅力に取りつかれ、気がつけばそこからはPR一筋で仕事をしてきました。

PRの仕事ですればするほど、奥の深さを実感し、プロフェッショナル性が求められる、とてもやりがいのある職種だと感じています。

### ■広報担当者同士の交流機会はPRプランナーならではのメリット

PRプランナーの資格を取ったのは、PRの仕事に携わって3年目でしたが、改めて「PRとは」を考え、体系的に勉強する良いきっかけとなりました。

PRプランナー部会では、プランナー相互交流の場の創出や勉強会の企画・運営などを中心に携わっていますが、幹事として活動する一方、私自身も幅広い業界の広報担当者とは知り合い情報交換をさせていただく貴重な機会として、楽しみながら参加をしています。

同じ職務に従事する仲間として、初対面であってもフランクに話ることができ、その後も広く深いお付き合いになっていくのは、悩みを共有できるPRプランナー同士だからこそではないでしょうか。

### ■PRのデジタル化を推進して効果的な広報活動を行いたい

私が所属している Supership という会社は、アドプラットフォームの開発・運用を中心に、デジタルマーケティングを通してクライアントの課題解決を推進する企業です。マーケティングというPRと近い領域の、なかでもデジタルマーケティングという業界も、また奥が深く、進化のスピードには日々目を見張るものがあります。

PRとは違った視点で企業ブランディングや製品プロモーションを導くマーケティングですが、テクノロジーの力でブランドセーフに取り組んだり、データを活用して精度の高いターゲティングを行ったりと、PRのスキームに活かせる部分も多いと感じています。すでに、海外のPRエージェンシーではデータ分析を取り入れて効果拡大を図る先進的な事例が見られるなど、PRの世界でもテクノロジーを活用してデジタル化を進めることで、より事業貢献度の高い広報活動を実現できるのでは、と考えています。

PRプランナー資格認定制度も10周年を迎え、いよいよ2,000人を突破したプランナーの仲間たちと、今後もPRを進化させ、その未来を切り拓く一翼が担えればと思っています

**会 員 限 定****第183回定例研究会****ワールドビジネスサテライト 2017年の番組作り  
～『WBS』がめざすニュース映像の新世界を探る～**

**講師：株式会社テレビ東京  
報道局次長 経済部長  
WBS 総合プロデューサー 名倉幸治氏**

第183回定例研究会（5月度）は、5月31日（水）12：00～、AP秋葉原で開催しました。講師はテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」総合プロデューサー 名倉幸治氏。テーマは「『ワールドビジネスサテライト』 2017年の番組作り ～WBSがめざすニュース映像の新世界を探る～」。

参加者は115名でした。



<コラム関西の風>

## イケフェス大阪 2017 ～「ダイビル本館」を見に行こう～

ダイビル株式会社  
広報室 課長  
松岡正展

突然ですが、「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」(イケフェス大阪)をご存知ですか？

このイベントは普段入ることのできない大阪の「生きた建築」を、建築物所有者等の協力を得て週末の2日間限定で公開し、建築の面白さや歴史を通じて、いつもとは一味違う大阪を感じてもらうことを目的に開催するイベントです。4回目となる今年は、10月28日(土)、29日(日)に開催されます。

昨年は76の施設で、109プログラムが実施され、延べ約3万7千人が参加されました。新聞などでもよく取り上げられており、大阪の建築ファンのみならず、今後さらに世間の注目を集めるであろうと予測されます。

大阪・中之島を創業の地とする当社も本イベントに参加しており、とりわけ中之島に所在する「ダイビル本館」のガイドツアーは毎年好評を得ているプログラムです。

旧「ダイビル本館」は1925年(大正14年)竣工で、大阪で最初の本格的なオフィスビルといわれた近代建築です。2013年に建て替え竣工した現ビルの低層部には、その外観を復元するなど旧ビルの魅力を色濃く継承しています。館内には古き良き時代の雰囲気がありましたが、新ビルエントランスホールにも旧ビルのイメージを再現し、回廊手すりや床面タイル、私設郵便ポストは旧ビルで使用していたものを再利用するなど内部にも拘っています。ちなみに、1階の「ダイビルサロン“1923”」には旧ビル竣工当時の調度品や装飾品を再現するなどかつての面影が展示しており、より一層時代感が味わえると思います。ガイドツアーでは、当社社員がこれら“名所”をはじめ建物内外を案内しながら建て替え時の建築秘話などご紹介しています。

私が社会人1年目から建て替わるまでの14年間を過ごした旧「ダイビル本館」は沢山の思い出のある建物ですが、なかでも1階商店街の端っこにあった「博龍商店」という小さな売店は忘れられないお店です。今ではあまりないと思いますが、そこは個人商店のお店で、行けば明るい顔で迎えてくれるご婦人の店主がおられました。時に仕事で落ち込んでも、そこに行くとニュートラルになってまた仕事に戻れるような場所でしたので、私も常連でしたがこのお店のファンは多かったです。

私にとって旧ビルの流れを汲む「ダイビル本館」はとても愛着があり、多くの方に知って頂きたい建物です。はじめに書きましたが、この秋「イケフェス大阪2017」が開催されます。

是非大阪にお越し頂き、「ダイビル本館」を見に来てください。そしてあの時代の空気感を感じてください！



**「ダイビル本館ガイドツアー」**

旧ビルから取り外した「鷲と少女の像」(大阪市指定有形文化財)を正面玄関上に設置しているほか、外装煉瓦は約15万個を再利用している。

**「ダイビルサロン “1923”」**

旧ビル竣工当時にあった社交場「大ビル倶楽部」の雰囲気再現したサロン。館内テナントの皆様、商業店舗を利用されるお客様の待ち合わせや寛ぎの場など広く利用されている。



**「エントランスホール」**

旧ビルエントランスホールのデザインを継承した1～2階の吹き抜け空間となっている。

**「ダイビル本館 (低層部)」**

冬場はライトアップされた姿が楽しめる。



## ■ 会員便り

### 3年間約50社の社内広報施策・手法を調査・分析 日本広報学会チームがI C戦略・事例セミナーで提言

CCI研究所 代表／筑波学院大学客員教授  
日本パブリックリレーションズ協会 監事  
清水正道

激しくなるグローバル競争のなかで、未来に向けた企業戦略を確実に実行するには、グループ内のコミュニケーション戦略が不可欠です。誰がいつ、何をどう変え、どう実行するのか? 「腹に落ちるコミュニケーションとは何か」との問いかけから3年あまり。約50社に上る企業ヒアリングから見えてきたのは、トップ主導による企業文化創造活動から日刊CSR通信までのさまざまなインターナル・コミュニケーション(IC)活動でした…

こんな気張った書き出しで始まる日本広報学会「広報塾」セミナーの案内を学会ウェブサイトアップしてから1週間。お陰様でたくさんの方からお申し込みをいただきました。私は「有り難い」と思いつつ、皆さまの期待にどう応えるかを考える毎日です。

私は、考え方、やり方次第で社内広報はものすごく面白い仕事になると思います。なぜなら、まず会社を「鳥の目・虫の目で見て・聞き・観察する」ことができますし、観察結果をコミュニケーション行為に転じていけば、直面する経営課題のリーダーとして、事業強化から経営改革に至る成果をあげることができるからです。

#### なぜ【インターナル・コミュニケーション】なのか?

私自身、40年余に及ぶ私の広報人生の最初の仕事が「社内報編集担当」でした。失敗もたくさんしましたが、多くの広報マインドや手法は、恐らくこの仕事のなかで培われたとあって良いでしょう。そのような経験を思い出しつつ、企業／トップヒアリングを重ねていくと、もはやこの行動、この発想、この取組は、単なる「社内広報」でも「社内コミュニケーション」でもないだろう、世界にも通用するインターナル・コミュニケーション(IC)がここで芽吹き始めているのではないかと考えるようになりました。

夢想かもしれませんが、そんな想いで付けたタイトルが“*経営強化に直結する【インターナル・コミュニケーション】戦略と事例*”でした。ここで言うICは社内広報どう違うのか? 一言で語るのは難しいのですが、敢えて言うなら「新事業・新商品開発に向かって、社員起点で共通目的と貢献意欲をもった社員をつなぎ、成果につなげるコミュニケーションの仕組み」とでも言ったらよいでしょうか?

もちろんこの「新事業・新商品開発」を「顧客満足向上」「海外の同僚との素早い意思決定」などと読み替えてもよいでしょう。

いずれにしても、日本企業だけでなく、最新の海外企業の事例を含めて、トップとスタッフ／従業員の直接対話から経営理念を掲げた国際的な受注活動まで、内外の多様なエンゲージメント事例を紹介するとともに、そのもつ意味も検討し、実務に反映できる提言をまとめました。

ぜひお出でいただき、ともに新たなコミュニケーション施策・手法を見いだすきっかけとして下されば幸いです。

## 日本広報学会 第72回広報塾 開催要領

■後援：社会情報大学院大学

■日時：2017年7月24日(月) 開場18時00分、開始18時30分、終了20時30分

■場所：東京・高田馬場「社会情報大学院大学」<https://www.mics.ac.jp/about/organizon/>

■定員：50人(先着順)

■資料費：会員3,000円、非会員4,000円、学生会員2,000円(上記大学院学生は無料)

※ 参加費は会場でお支払いください。

■講師：(株)野村総合研究所／社会情報大学院大学 教授 柴山慎一氏(主査)

筑波学院大学 客員教授 清水正道氏(研究チームリーダー)

(株)ソフィア コンサルタント 池田勝彦氏(副主査)

東京都市大学 准教授 北見幸一氏(研究チームメンバー)

クロスメディア・コミュニケーションズ(株) 雨宮和弘氏(司会)

■申込先：日本広報学会 [jscsty@gamma.ocn.ne.jp](mailto:jscsty@gamma.ocn.ne.jp) 03-5283-1104

※ ご所属・氏名・連絡先、会員・非会員の種別とともにメール/電話でお申し込み下さい。

■プログラム：

18:30 開会 本プログラムの趣旨と協力依頼

18:40 調査報告1. トップヒアリング調査による大手7社の取組事例

19:10 Q&A

19:20 調査報告2. 社内報／イントラを含む最近I C活動の動向  
-海外企業及び日本企業動向 (I A B C 報告を含む)

19:50 Q&A／休憩

20:00 研究チーム提言「戦略I Cに向けた施策展望」

20:20 Q&A



## PRSJ in Media

● 6月1日（木） 『月刊広報会議』 7月号

『月刊広報会議』 7月号における当協会の連載コラムで、4月11日から13日にかけて教育委員会が主催し開講した「広報・PRスタートアップ講座」の様子が掲載されました。

「広報・PRスタートアップ講座」は、広報・PR実務に必要な基本的知識やスキルの習得を目的として、比較的経験の浅い実務者を対象に毎年4月に開講する研修講座です。コラムでは、3日間にわたって開講された本講座の各プログラムとその概要、特色について紹介されました。さらに業務に関する基本的な考え方の習得、具体的なイメージの把握、といった、新任者が本講座に参加する意義についても触れられています。

**編集担当から**

**会員みなさんの情報をお寄せください！！**

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

### 編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、  
よろしくお願い致します。

#### 広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載